

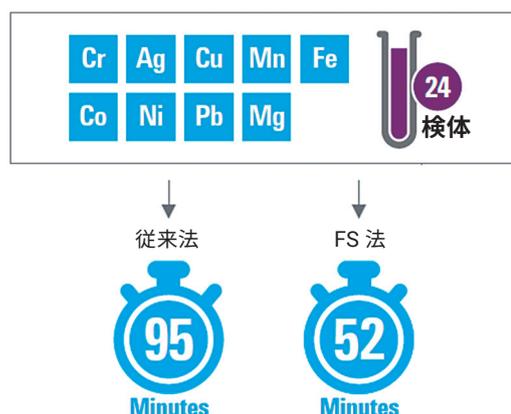
原子吸光からトリプル四重極 ICP-MS まで 幅広いラインナップ

独自の技術を備えた革新的な製品群

独自のファーストシーケンシャル機能により 高い生産性を実現する原子吸光

ファーストシーケンシャル (FS) 機能

- 迅速測定：一度の吸引で指定したすべての元素を測定
従来の原子吸光に比べて測定時間を 45 % 以上低減
- ランニングコスト低減：少ないアセチレンと亜酸化窒素の消費
- 少ない廃液や試薬量：分析で使用するサンプル量が少なく、
サンプル廃液、試薬量、およびメンテナンス頻度を低減



窒素プラズマを用いたマイクロ波プラズマ原子発光分光分析装置

Agilent 4210 MP-AES 特長

- 最小限のランニングコスト：空気中の窒素ガスを使用
- ラボの安全性向上：窒素ガスを使用
アセチレン、亜酸化窒素などは不要
- 優れた性能：フレイム原子吸光と比べ、広いダイナミックレンジ、
優れた検出下限を実現



スピードにも精度にも妥協のないスマートな ICP-OES

Agilent 5800/ 5900 ICP-OES 特長

- ICP-OES 専用の世界最速 CCD 検出器により、
迅速な測定によるトータルランニングコスト低減
- アクシシャル・ラディアルを同時測定 (5900)
- 垂直トーチと独自の高周波技術により高いマトリクス耐性を実現
- 全波長高速スキャン (Intelli Quant 2.0)
全てのサンプルで測定
サンプル毎に、他の元素によるスペクトル干渉情報の表示
- 検量線から検出下限値を自動算出 (QC 機能)
- 測定値の統計・検定機能によりデータ解析を支援
- ネブライザーガス圧力の常時モニタリング (PRO Software)
- メンテナンスが必要なタイミングを通知 (通知タイミングはカスタマイズ可能)
- 独自技術によりコンパクトな光学設計を実現して、検出下限・分解能がさらに向上
- コンパクトサイズ：幅 625 mm、奥行 740 mm、高さ 887 mm、質量 90 kg



極微量から高濃度まで幅広いダイナミックレンジで検出でき、高マトリクスサンプルも複雑なアプリケーションも簡単に条件設定ができる Agilent 7850 ICP-MS

Agilent 7850 ICP-MS 特長

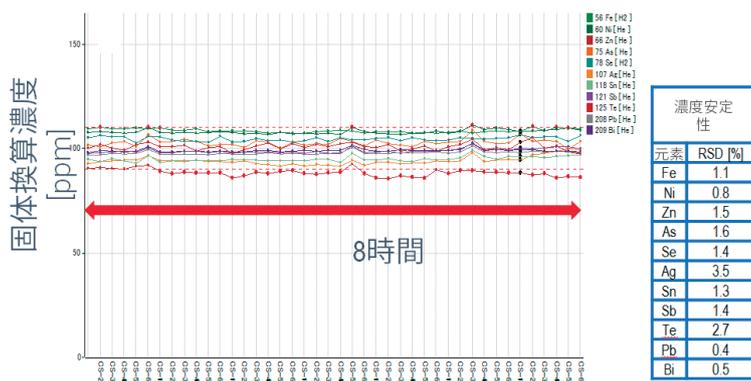
- ppt レベルの高感度分析が可能
- 25% NaCl の無希釈分析が可能
- 10 桁以上のダイナミックレンジ (ppt~%)
- オートチューニングによるシンプルな操作



シングル四重極 ICP-MS として最高の性能を誇る Agilent 7900 ICP-MS
卓越した感度、マトリクス耐性、ダイナミックレンジなどを実現

Agilent 7900 ICP-MS 特長

- 高感度
- 非常に高いマトリクス耐性：飽和食塩水 25 %NaCl 導入可能
- 優れたダイナミックレンジ
- 優れた干渉除去
- 超高速データ採取：ナノ粒子などに対応



1 %Cu を 8 時間測定した時の定量値の安定性
縦軸は固体換算濃度、横軸は時間

革新的な性能を誇る次世代トリプル四重極 ICP-MS

Agilent 8900 トリプル四重極 ICP-MS 特長

- 高感度
- 1 質量毎に制御できる Q1：より優れた干渉除去を実現
- 非常に優れたアバダンス感度：主成分に隣接した微量元素も測定可能
- 超高速データ採取：ナノ粒子などに対応

